

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和元年十一月十三日発行（毎月一回十三日発行）

定価 五〇〇円

第938号

第七十五卷

12

月号

高知道書跳龍会

竹村子雀書

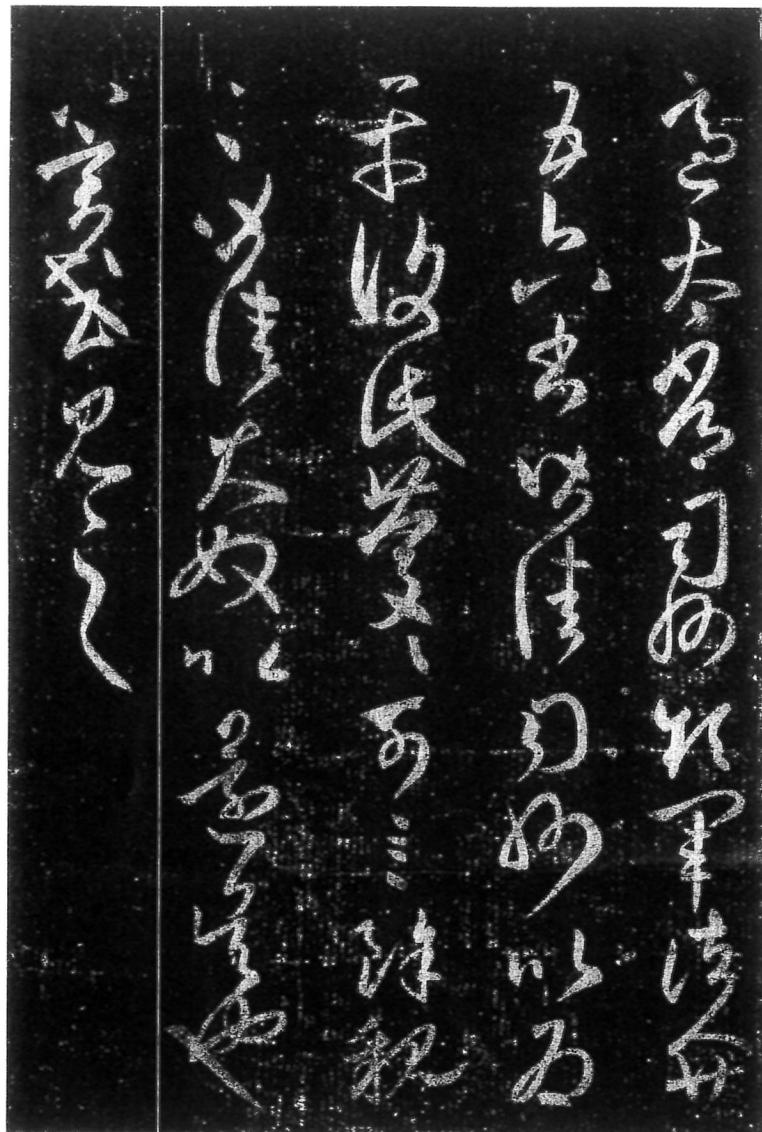
江碧鳥逾白。山青花欲然。
今春看又過。何日是歸年。

七言

江碧鳥逾白。山青花欲然。
今春看又過。何日是歸年。

王羲之

尺牘集より



適太常司州領軍諸人。廿五六書皆佳。司州以爲平復。此慶々可言。餘親々皆佳。大奴以還吳也。冀或見之。
「太常」は太常司州領軍諸人の事。廿五六の書は皆な佳なり。司州は以て平復と爲す。此れ慶々言う可し。餘の親々は皆な佳なり。大奴は以て
吳に還る也。冀わくは或いは之を見んことを。

王羲之「三」

尺牘について

「尺牘とは手紙のことである。古来、書の範本の中心は尺牘であった。行・草書は尺牘のために生まれ尺牘とともに発達したといつても過言ではない。

その中心が王羲之の尺牘であり、書を学ぶとはまた王羲之の尺牘を学ぶことであつた。」

以上、書道技法講座（8）の冒頭の言葉である。

今回で大常帖第三回の学習となります。

田中幽峰臨

柱国魯郡開國公顏真卿謹奉書于

柱國魯郡開國公顏
真卿謹奉書于

中平美峰書

快日明窓間試墨寒泉古鼎自煎茶

快日明窓間試墨
寒泉古鼎自煎茶
中平美峰書

梅川桂龍書

書
不用
幷
開

もつ
いす
書帙を開くを

梅 川 桂 龍 書

酒 偏 宜 上

樓

偏
宜
上

酒
樓
上

碧
池
に
響
く
者
を
知
る
人
は
少
し
な
い

福原曉雲書

寒泉 碧池に響く

出間桂堂臨

王羲之



太常帖



還吳也冀

江西澄翠書

煙眉跳宕紅塵外
風刀霜劍裡王笛中

西山極山臨

弓劍麾文皇大旨開
更使他生流字數

澄翠書

廣田秋櫻臨

上固以主人為先。主
長而後復歸人也。
秋櫻

武內美仁臨

五經演易繫辭經緯
天地圖讀神明故
美仁

倫敍而天下和平也且
上自宰相御史大
臣清大吏以除弊建
清幢報公恩德

森光望春

岡林邦心

山下枝雪

大原桂園

野中惠花

零露在如惔而未嘗
消長也善將自
降遂鍾之至她有至
高擅院木軍於

美佐佐

故猶乞通可以尔
而乞一遙因汝

松竹留因夏淺山去
爲秋久廣白雪

鎌倉春葉

中澤英子

濱崎洋堂

別役美佐

大崎紫陽

紫陽佐

高太守司徒終甲戌人
廿五年、忠此情望來將

不差豪髮先帝賞以
封爵授以勳郡今

錢縮頸還青松木無
羣安得保歲寒

邦心佐佐

廿五年、忠此情望來將

鎌倉春葉

中澤英子

濱崎洋堂

別役美佐

条幅当選作品 出間桂堂 選評

★天位

野中恵花君|| 気負いなく平常心でよい温和な作。

大原桂園君|| 流れよく章法巧み線の強さが出ていて、

山下枝雪君|| 画数が多く苦労されたと思うも一氣呵成で仕上げ

ている。

岡林邦心君|| 原本に忠実に書かれたと思うが素朴な味は出ている。

る。

森光望春君|| 少し章法に難はあるも粘り強い線の良さをとる。

★地位

別役美佐君|| 上部の横の並びに注意。他はしつかりした線で
氣脈は貫通している。

濱崎洋堂君|| 章法に変化がありこの調子で進まれたい。
中澤英子君|| 大小を巧く交えて楽しい。章法が巧い。

★人位

鎌倉春葉君|| 大胆な書きぶりで単体もしつかりしている。

次回が楽しみです。

大崎紫陽君|| 前者と同じ。次が楽しみです。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◇

11月の審査は24日(日曜)午前9時30分に開始します。審査会場は**高知城ホール**です。

遠初
山雪
の

中學一年課題
廣末幽念書

文古

明代

吉福

券引

小学五年課題 山下枝雪書

か種

し明

火用

心の

小学三年課題

大原桂園書

市場

小学二年課題　岡林邦心書

うるわ

12月20日締切

小学一年・ようち・ほいく課題

山本瑞草書

うるる

学校名	こよみのうえでは、立秋から立冬の前日までを「秋」といいます。
年	六
級段	節の様子は、どんな言葉で表
氏名	されていりでしょう。

学 校 名	儀兵衛の熱意は、外を向こ
五 年	うとしていた村人たちの足を 止めた。そして、賃金を得ら れろ仕事があり、それが村の
級 段	ためになると、いう案は、村人 たちをふり返らせた。
氏 名	

テレビでサッカーの試合を放送しています。会場全体が、静かに、こう待ち受けている感じが伝わります。

学 校 名	大豆はいろいろなすが
三 年	たで食べられて います。
級 段	大豆のよいところに気づ
氏 名	き、食事に取り入れてき
	た昔の人々のちえにおど
	ろかれます。

がっこう						
	ん	思	が	ゆ	ぼ	
二 ねん	ほ	う	う	う	く	は
きゅう うん	し	な	あ	に		
なまえ	た	。	つ			
	ら	。				
		雲	た	と		、
		の	ら	べ		
		上	い	る		
	楽	を	い	も		空
	し	さ	い	の		を
	い	。	と			じ

がっこう	ん	ナ	ん	お
一 ねん	で	ナ	ご、	み
きゅう なんまえ	い	な、	みせ	せ
	ま	ど、	みか	に
	す	が、	ん、	は
	。	、	、	、
	な	、	、	、
	ら	、	ハ	り

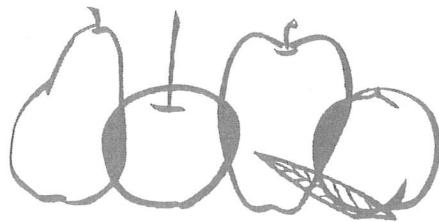
がっこう	う	し	た	う
ほ ねん	れ	た。	ま	ん
きゅう だ ん なまえ	し い な。	き ん め	い れ を	ど う か
		だ る	し ま	、 い て

お知らせ

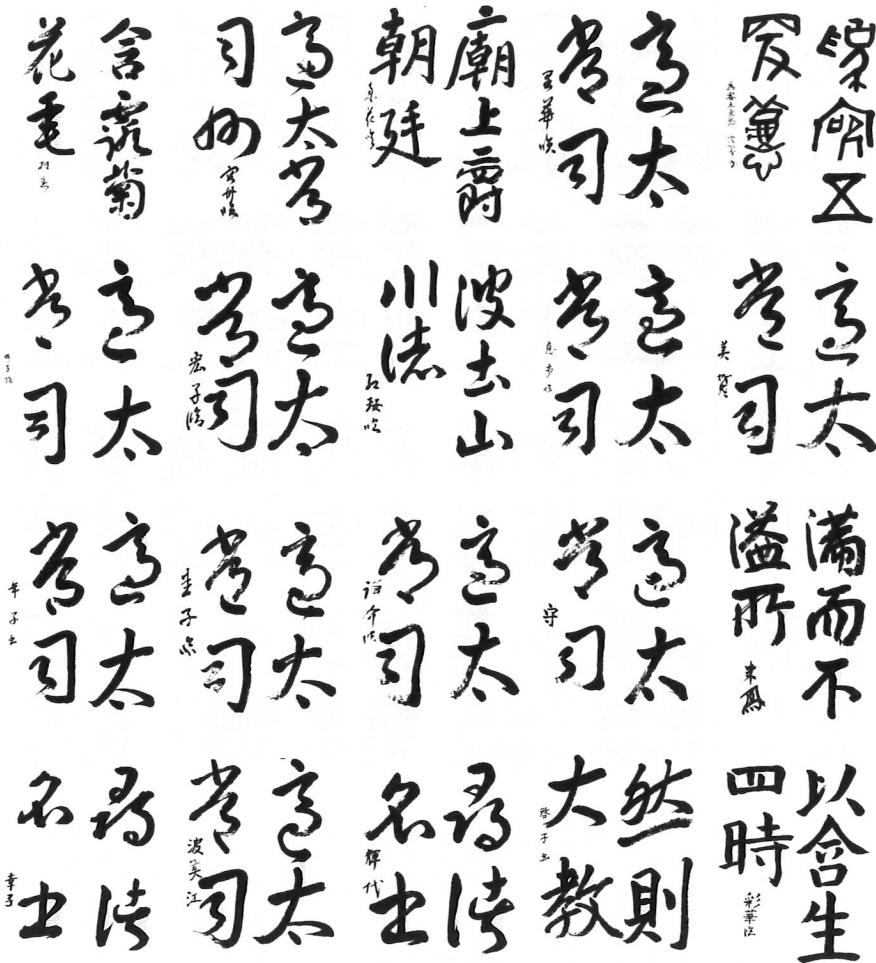
第73回県展 入選者

(順載記新高)

入選



（一段目）
 澄翠君^{（一）}用筆に氣配りし 福原曉雲^{（二）}選評
 桂園君^{（三）}太細でメリハリを付け明るく良く伸びてゐる。品良く、選評
 恵花君^{（四）}やや堅さあるも、筆勢強く力感を藏す。
 美津子君^{（五）}いつもながら良く勉強されてゐる。章法良く安定する。
 洗雨君^{（六）}末端まで意が良く届いて作。更に精進して下さい。佳作。
 （二段目）
 恵歩君^{（一）}線はすこし太めで、大黒仙雲^{（二）}選評
 花君^{（三）}激しさが表れて氣迫を感じるが落胆する。司郎君^{（四）}線の深さは表れていめるが章法をよくするとまたまりがちである。
 彰一郎君^{（五）}運筆の氣力を感じるが、やや線のまとまりを求めてほしい。
 充君^{（六）}さらつとした氣質で運筆しているがもう少し骨力がほしい。
 （三段目）
 紹子君^{（一）}行書を取り入れた息長い作。前田秀華^{（二）}選評
 竹山君^{（三）}生きている。余白が品。
 啓助君^{（四）}力みなく、温厚で線質に味あり。年子君^{（五）}小粒いあり。
 りえ君^{（六）}素朴で動きが大きい。落款一考。
 （四段目）
 知勢子君^{（一）}武内美仁^{（二）}選評
 幸三君^{（三）}余白が生きています、明るく仕上つています。
 美智子君^{（四）}がつます。
 輝代君^{（五）}力強いています。
 千歩君^{（六）}力線ついています。
 上つて動きよく、大らかに仕



(一段目)

北代碧山選評

澄翠君||書、構成共に抜群なり。里華君||筆力を加味すること課題なり。

惠花君||若々しくてよい。この調子で……。

桂春君||素直な筆致で作品も明るい。桂春君||余り器用さを外に出さない方がよい。

田中幽峰選評
美賀君||やや粗雑さを見るが筆の強さをとる。

恵歩君||少し黒いが大らかさあり。筆の開閉あつてよい。

紅瑛君||真面目に書いて明るいが少し強さがほしい。

宏子君||伸びやかでよい。もう少し筆圧をかけること。

明子君||よくいい込んでいるも更に大胆に。

(三段目)

廣末幽念選評
朱鳳君||大らかで大胆さがよい。

守君||運筆良く伸びやか。
洋介君||筆深く沈着。

圭子君||素直に書いて安定している。
年子君||丁寧で伸びやか。

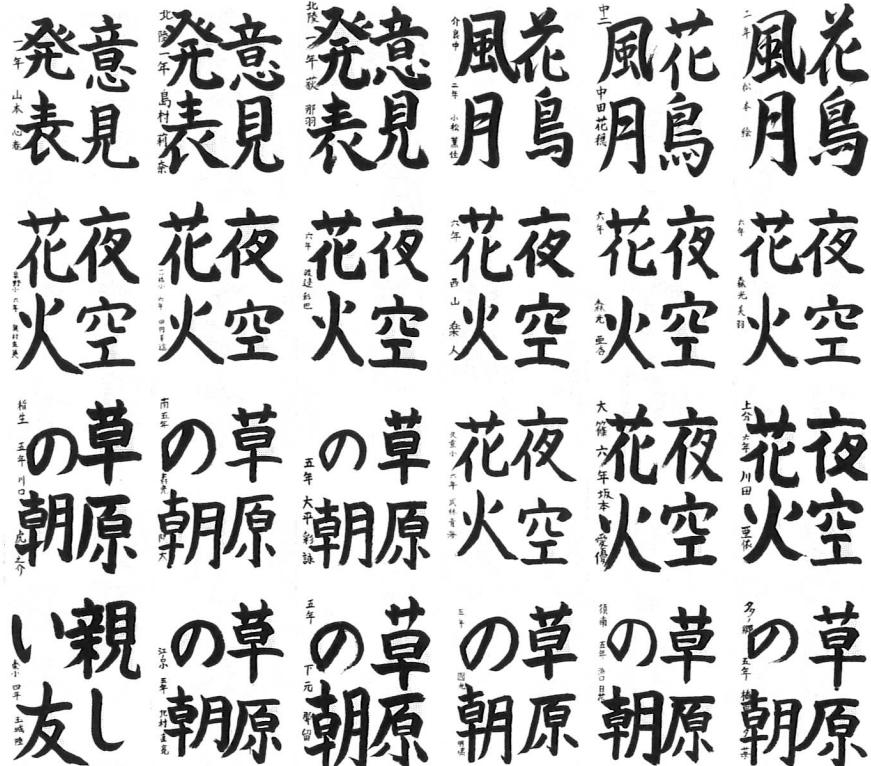
(四段目)
野島桂山選評
彩華君||落ちついてよくまとめてい

ます。
啓子君||勢いある作品。

輝代君||素直に書いて安定している。

波美江君||のびやかに書けました。
幸子君||落ちついてよくまとめてい

く。



(一段目) 中学部

塚地桂峰

選評

絵君||堂々とした作品。
花穂君||明るく良くまとまっている。

薰佳君||力強くていねいな作品。

那羽君||力強く堂々とした作品。
莉奈君||のび〜と書いている。

心春君||線がやや細いが、良くまとまっている。

大八木洋子
(二・三段目) 小学六年

美羽君||全体が良くまとまっています。

亜杏君||ていねいに書いています。

樂人君||良くまとまっています。

彩巴君||気持ちよく書いています。

芽途君||伸びやかに書いています。

来美君||大らかな作品です。

亜依君||はみ出すほどの力強い作品です。

愛優君||強い線で書かれています。

青海君||はじめて明るい作品です。

(三・四段目) 小学五年

岡林邦心
選評

虎之介君||ゆつたりと気持ち良く書けて良い。

夕苺君||きびきびとした作。

日花君||良くまとめているが「の」の形に注意。

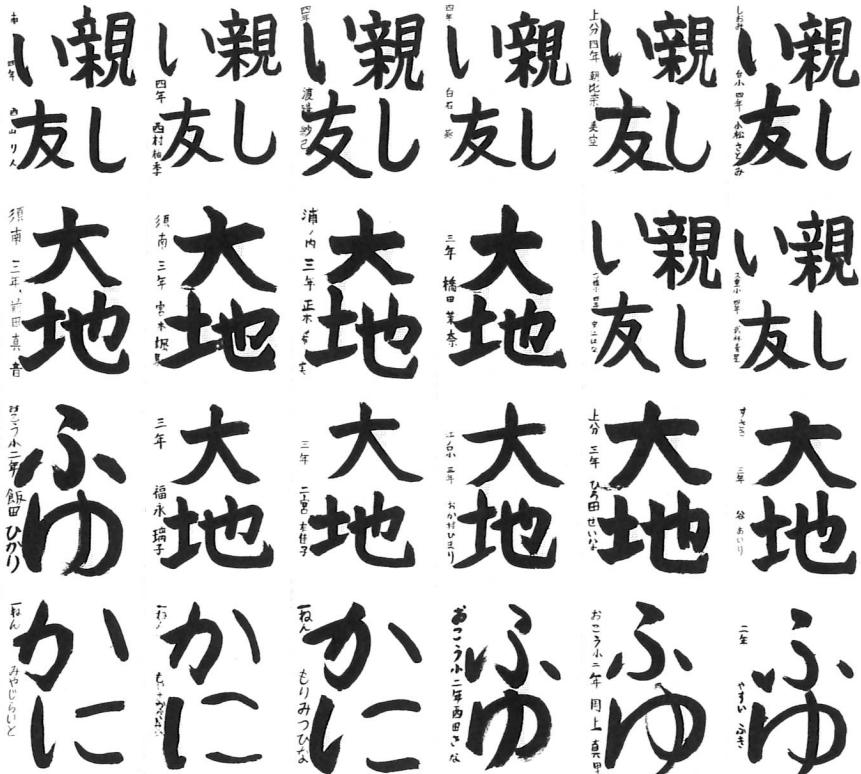
明璃君||ていねいで良い。

那留君||良く書けているが少し小さく書くと良い。

直亮君||落ちつきのある作。

(四段目) 小学四年

佐々木港花
選評



(一段目)

さとみ君||力強いところも見えてよいです。

美空君||筆力がありとてもよいです。

葵君||もう少し元気に。紗己君||力強く書いています。

柚季君||落着いてすなおに書いています。

はな君||元気に書けばもつとく良くなります。

(二・三段目) 小学三年 市原處艸 選評

希実君||「地」のへんとつくりのバランスを良く書くと

颯馬君||もつと良くなる。

茱奈君||しっかりと動かして力一杯書くともつとく良くな

ります。

青星君||「地」は、たくましくて

すばらしい。

眞音君||しつかりとした筆づかい。「大」は、形も良く

上手です。

あいり君||ゆつたり大らかに書けて良い。

せいな君||大きくまじめに書けています。

ひまり君||ていねいに書けました。

有佳子君||形良く、やかな作品です。

璃子君||紙面に形良く、バランス良くおさまっています。

(三・四段目) 小学二年

ひかり君||力強く書けました。形も上手。

中平美峰 選評

ひな君||のびやかに書けています。

ふき君||形がよくできています。

西山極山 選評

真里君||上手に書いています。

さな君||元気に書けました。これからもがんばって下

さい。

(四段目) 小学一年 ようち ほいく

ひな君||のびやかに書けています。

ふき君||形がよくできています。

西山極山 選評

真里君||いいねいに書けています。

さな君||元気に書けました。

ないと君||文字の形よく書けています。

硬筆優秀作品

浦ノ内 美島菜花
森光亜杏

久重 多ノ郷 弘瀬英乃玲

甲浦ノ内 上田梨里香

多ノ郷 黄之瀬 風
潮見台 小松さとみ

舟入 西野文那
坂本愛優

多ノ郷 橋田夕苺
坂本愛優

秦新 玉城 濱田ななみ
陸

久重 多ノごう 小笠原慈菜
橋田茉奈



硬筆優秀作品

須南 前田真音
川上紗奈

へわれ 中ひら 千友
塩見 ゆいな

甲浦 おおのごう 川田 せいは
もりみつひなば

すさき 一ツ橋 山さき ひなこ
うじはらいちの

それから何十年。町に
前よりもいい家にな
っています。小さな公園
になります。

それから何十年。町に
前よりもいい家にな
っています。小さな公園
になります。

それから何十年。町に
前よりもいい家にな
っています。小さな公園
になります。

それから何十年。町に
前よりもいい家にな
っています。小さな公園
になります。

ホンソメワケベラ
ホンソメワケベラ
ホンソメワケベラ
ホンソメワケベラ

ホンソメワケベラ
ホンソメワケベラ
ホンソメワケベラ
ホンソメワケベラ

ホンソメワケベラ
ホンソメワケベラ
ホンソメワケベラ
ホンソメワケベラ

ホンソメワケベラ
ホンソメワケベラ
ホンソメワケベラ
ホンソメワケベラ

しばらく
しばらく
しばらく
しばらく

しばらく
しばらく
しばらく
しばらく

しばらく
しばらく
しばらく
しばらく

しばらく
しばらく
しばらく
しばらく

いく
いく
いく
いく

いく
いく
いく
いく

いく
いく
いく
いく

いく
いく
いく
いく

一ツ橋
ながおか

岡村朋乃佳
二宮有佳子

江ノ口
早川えい多

ふじさわ
しんじよう
わたなべかずと
なべしまそ

うち
うらのうち
や野
たまきはるね

第899回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

審查出間桂堂

(※印写真版)

★推薦

※江西澄翠
※西山極山

★天位

※野中恵花
※大原桂園
※岡林邦心
※森光望春
大八木洋女
中平美峰
水田紅子
原桂
市原處艸仁
岡本空
大崎花梢
岡本志峰
吉田深美

※※※別役美佐
浜崎洋堂
中澤英子
田村和義
大野美賀
河村容舟
丸田宏子
今井真理
津野恵泉
山脇佳由
中城知抄
北村哲郎
山中紅風
深瀬綠堂
川渕瑞容
岡田芳春
岡澤さわ
門田恵子
西山仁子
弘田賀峰
山本恵歩
萩原洸雨
西森令義
奥崎躍翠
内桂香
宮本キン子

規定

審查 福原 晓雲
★師範

★地位

☆人位

高橋桜芳
芝田春琴
伊吹悠道
和田風和
大石千施
長町白水
岩谷紅花
坂本碧香
岩崎竹山

須波東洋川
須高知流
須旭筆田崎
須山川田崎
須佐山王須
須久上須久
須國分礼子
須南川介南
須弘市花中
須野原處伸
須隅下枝雪
須岡林邦桂
須野島桂山
須水田紅葉
須本瀬綠女
須大庭桂紅
須中平美峰
須武内仁峰
須坂地桂水
須奥堂皓水
須西山極山

大津久津礼野見
越知野見
大黒仙靈
横山桂華
高橋柳芭水
佐竹雀園和華
畠原和華
今橋柳芭水
中沢里花
矢野忠臣
広田秋桜
大野美賀
須崎久礼
佐川亜
窪川旭筆

山旭越久山吾旭須山旭多香山須窪久窪久旭吾桑
田筆知礼田桑筆南田筆ノ郷
吉別岡窪田高長氏大平芝萩門奥嶋躍翠堅
田田橋桜井田田惠子中田城中紅風清閑
役田碧泉和子町原美泉中田中西森令景
田深美佐白水春井桂門中城抄
田和子

窪須旭旭窪東佐窪津久吾佐窪香土
川南筆筆川洋川野礼桑川北佐

小
山浜北和西伊野武楠浪松井辻岡清
山肠村田村吉吹口風美道子妙碧春
佳惠君子哲風和秀由悠道
月子郎和秀由悠道

旭 越 旭 鷹 野 新 山 大 波 越 高 越 佐 安
筆 知 筆 巢 市 田 田 野 介 知 知 川 云
見 久 岡 保 浜 松 岩 高 中 岩 崎 西 岩
利 谷 史 喜 代 子 宮 本 仁 晃 佐 岩
岡 林 翁 喜 代 子 仁 晃 喜 代 子
長 尾 節 一 花 仁 晃 喜 代 子
初 洋 地 崎 本 伸 岩 崎 仁 晃 喜 代 子
英 子 伸 岩 崎 仁 晃 喜 代 子
草 伸 今 伸 岩 崎 仁 晃 喜 代 子

久礼見筆頭大旭川淀高須多野市知南筆筆川淀流元玉川山崎瀬谷下田濱坂順子藤原朱雀星子田川芳莘昭生村大嶋澤さわら岡本薰山

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切つて下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

★ 初段	坂本絢子 市川芳享 田村昭生 濱田順子 岡村薰葉 春澤さわ	大河内百合 元玉泉 下山川 紫陽花 大崎山 瀬	★ 五段	山本恵歩 矢野忠臣 演田千代
★ 初段	吉村伸子 森岡康恵 吉井佳代 高橋園喜 松島利惠 大高橋	坂本知恵子 藤中裕美 吉永美知 高須崎 南川	★ 一級	前田伸枝 大崎美保子 吉永美知 高須崎 南川
★ 二級	吉村久美子 岩本惠美 吉永美知 高須崎 南川	大平圭子 柴田年子 藤原りえ 吉永美知 高須崎 南川	★ 二級	大野見 西山田 横川美代
★ 三級	吉村知恵子 岩本智美 吉永美知 高須崎 南川	吉永美知 高須崎 南川	★ 三級	大野見 西山田 横川美代
★ 四級	吉村知恵子 岩本智美 吉永美知 高須崎 南川	吉永美知 高須崎 南川	★ 三級	大野見 西山田 横川美代
★ 五級	吉村知恵子 岩本智美 吉永美知 高須崎 南川	吉永美知 高須崎 南川	★ 三級	大野見 西山田 横川美代
★ 六級	吉村知恵子 岩本智美 吉永美知 高須崎 南川	吉永美知 高須崎 南川	★ 三級	大野見 西山田 横川美代
★ 準師範	吉村知恵子 岩本智美 吉永美知 高須崎 南川	吉永美知 高須崎 南川	★ 師範	大野見 西山田 横川美代
★ 六段	吉村知恵子 岩本智美 吉永美知 高須崎 南川	吉永美知 高須崎 南川	★ 師範	大野見 西山田 横川美代
★ 七級編入	吉村知恵子 岩本智美 吉永美知 高須崎 南川	吉永美知 高須崎 南川	★ 師範	大野見 西山田 横川美代
★ 新規	吉村知恵子 岩本智美 吉永美知 高須崎 南川	吉永美知 高須崎 南川	★ 師範	大野見 西山田 横川美代

★四級

○濱田幸子

★六級
○鍋島千歩

第836回毛筆成績

○印は昇級

〈お知らせ〉

◎第30回中岡迂山書展

奨励賞 武内 美仁

岡本 空仁

◎第57回中土佐町総合美術展覧会

無鑑査 奥堂 眩月

教育長賞 山中 紅風

文化協会賞 浪上 理奈



連絡・問い合わせ・送り先等

新規入会申込と会費の送金先

「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一一一

隅田亘心

龍跳書道会 振替口座番号

01690-3-31925

電話(0八八九)二五一〇九七一一番

月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話(0八八八)八六五一八八五七番

「龍跳誌」の内容について

〒781-6410 安芸郡田野町一四五六一九

廣末幽念

電話(0八八七)三八一五二〇八番

編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛治町六一八

江西澄翠

電話(0八八九)四二一三〇六七番

・送本についての連絡先
(冊数の相違等については当方へ連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話(0八八九)四七一〇七一一番

あとがき

大型台風19号、本県には直接被害がなかつたが東日本を縦断し、河川で堤防が決壊し家や田畠に浸水します。最近の台風は地球温暖化の影響でゲリラ豪雨、スーパー台風の発生が増えると予想されます。

いくら台風に慣れている私達でも今後は考えを改め、早く避難することを心掛けましょう。

県展を見に行つてきました。毎年のようになつくりと行こうと思つていたところ、大黒先生からお誘いがあり急遽行つてきました。今年は前期、後期に別れていふのを忘れていました。

会場で作品を見せてもらつた感想は、全体に明るくスッキリした作品が選ばれていなあと感じました。また、いつも一緒に勉強している仲間の作品は落ち着いて見ることが出来てよかつたです。

書画会書展、もうすぐです。その後高知連合選抜書展が安芸市で開催されます。誘い合つて東部へ車を走らせませんか。

幽念

月例競書課題

月例作品送り先	保育	年	年	年	年	小学六年	年	年	中学三年	半紙隨意	半紙規定	一般条幅	部別	締切日
〒783-0081 電話(088)865-18857 南国市片山四九〇 西山極山宛	つ る	ふ ゆ	市 場	火の用 心	種明 かし	福引 き券	古代 文明	二年	初雪の遠山	任 意	偏宜上 酒樓	任 意	十二月二十日 締切	十二月二十日 締切
	こ ま	か る た	白 い 雪	成 人 の 日	清 き 願 い	天 然 の 美	冬 期 休 暇		希望の天地	任 意	故人京洛滿	任 意	一月二十日 締切	一月二十日 締切

会費の送金について

会費：半年分 3,000円／1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は料金不要)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

$$\begin{aligned} \text{例} & \quad 12 \text{冊 } Ⓐ + Ⓑ = 290 \text{円} \times \text{月数} \\ & \quad 17 \text{冊 } Ⓐ + Ⓑ = 360 \text{円} \times " \\ & \quad 30 \text{冊 } Ⓑ \times 3 = 630 \text{円} \times " \end{aligned}$$

◎会費と龍跳誌料金は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 • 〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 • 振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎ 0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 料金 ○円

と記入のこと。

印刷所	発行所	发行人	編集室
(有)笹岡印刷所 須崎市東古市町二一一六 電話(088)421-0244	龍跳書道会 電話(088)381-5208	安芸郡田野町一四五六一九 廣末幽念(本部) 電話(088)381-5208	中平美峰 江西澄翠 前田秀華 野島桂山 北代碧山 廣末幽念